

## Delhi 東京外語会

内田祥夫 (H平9)

2013年12月1日(日)午後7時より、インド・ニューデリーにて、デリー近郊に在住の東京外国語大学卒業生の会が催されました。今回は前回2013年6月23日(日)の開催に続き、第5回目の会合となりました。この時分の北インドは朝夕の冷え込みと共に、(デリーの大気汚染問題も日々取り沙汰されておりますが)毎日晴天に恵まれ、日中は暖かい穏やかな気候となり、北インドのベストシーズンと言えます。会場は南デリーの中華料理屋「南京」での開催となりました。師走の多忙な時分にもかかわらず、10名の同窓生と3名の現役学生の合計13名が一堂に会することができました。

今回の参加者は、写真前列向かって右側より、ヒンディー語科在籍中の松永さん、Jabalpurにて日本語教師をされている芳賀さん(U昭42)、オディシャ在住で舞踏家としてご活躍の小野さん(U平8)、デンソーインド勤務の吉田さん(H平22)、写真後列向かって右側より、日立インド勤務の伊藤さん(H平9)、東芝インド勤務の渡邊さん(D平4)、ランバクシー・ラボラトリーズ・リミテッド社に勤務の内田(H平9:本会の幹事)、川崎重工業デリー事務所の木村さん(Th昭61)、Toyota Material Handling India社長の石原さん(Po昭55)、ウルドゥー語科在籍中の小泉さん、同語科在籍中の武内さん、インド三井物産勤務の



増田さん(U平19)、ヨコハマ・インド勤務の新田さん(H平22)です。

開催日前日の11月30日より、日本国より天皇皇后両陛下がデリーにご訪問・ご滞在されているということもあり、その最中での開催となりました。参加者の中には、両陛下と直接謁見なされた方もあり、その様子などを伺えた他、自己紹介を交え、インド人の魅力・良い面とは何か、現役学生に対する就職面談の留意事項、デング熱に罹患した際の対処方法等々、話題は尽きることがありませんでした。お陰様で、会は穏やかにそして和やかに進行し、当会の幹事としましては、皆様が愉快的時間を共有することが出来たものと確信しております。次回(2014年6月を予定)の再会を約束し、本会は散会となりましたが、Delhi外語会のネットワークの基盤づくり・更なる会の活性化・継続した定期会合の開催等々、今後も更に推し進めて参りますので、引き続き皆様方のご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 福岡支部

安部有樹 (C平14)

11月30日(土)、モロッコ料理店「ゼリージュ」にて、福岡支部外語会を開催しました。

当日は森山支部長(C昭52)はじめ総勢18名の参加となりました。

初参加のメンバーが自己紹介を終えた後、懇親会に移行、各会員が近況報告を行いました。今年度は、長崎・佐世保、佐賀からもご参加いただいた



た先輩方もおられ、支部の存在意義を再認識した会でもありました。普段はあまり口にするのではないモロッコ料理に舌鼓を打ち、また余興でも盛り上がり、会員一同充実した初冬の一夜を過ごす

ことができました。

来年もまた会員一同、元気な姿で集まれることを心より楽しみにしております。

## 東京外語会秋田支部総会報告

12月21日（土）に、ホテル・メトロポリタン・アキタにて、東京外語会秋田支部総会が開催されました。年末の忙しい中、14名の出席でした。

総会では、まず元学長で、前国際教養大学長の中嶋嶺雄先生を偲んで、黙祷が行われました。また、幸野稔秋田大学名誉教授（E昭36）が支部長を勇退し、新たに米田進秋田県教育長（E昭50）が支部長に、佐藤浩一由利高校教諭（E昭58）が幹事長に就くことが了承されました。その後の懇親会では出席者の近況報告があつて、和やかに会が進み、中嶋先生の思い出などが語られました。出席なされた方々のワールドワイドな体験談やアカデミックなお話はとても興味深く、知的な興奮を覚え、充実した時間を過ごさせていただきました。

佐藤浩一（E昭58）



出席者：幸野 稔、米田 進、勝又美智雄、竹村 豊、濱本良一、大友 俊、小西尚志、和賀美紀、小林 康、佐藤康一、太田 希、関屋亜生以、藤田義人、佐藤浩一（順不同・敬称略）

## 中部支部総会反省会、亀山前学長も御出席

12月7日（土）、名古屋駅近くの居酒屋で中部支部の有志による会合が開かれました。前学長で、現在は名古屋外国語大学長の亀山郁夫先生も参加され、総勢22人が集合。20代から70代までがロフト風の個室で膝を交えて、交流を深めました。

今回の会合は、6月に開かれた総会の際、定期的に会合をもって支部の活動を活性化させていく方針を確認したことを受けて開かれました。

自己紹介に近況を織り交ぜながら参加者が一言ずつあいさつした後、テーブルごとに懇談。「周囲に同窓生がないので、このような機会はうれしい」「さまざまな年代の人と懐かしい母校の話

焼石（池田）千晶（I平成1）



ができた」などの声が聞かれました。野菜中心のヘルシーな料理をつまみにワインやビールの杯を重ね、あっという間の2時間余でした。最後は店の前で記念撮影をし、近い将来の再会を約束しました。

パリ支部 / TUFSGローバルコミュニティ 合同新年会

沼田睦子 (F昭44)

「年末年始、言語文化学部長川口裕司教授、言語学調査研究と学会発表を兼ねて来欧」との報を得て、時節も良し、1月10日、パリ支部としては久々に新年会を開く運びとなりました。会場はカルチエ・ラタン、フランス伝統料理で定評のレストラン。ワインリストもみごとで、ドルドーニュ川とガロンヌ川が擁する地域のボルドー、赤白共に2006年ものの芳醇なワインを堪能しました。

川口教授の調査研究がTUFSGローバルコミュニティの推進する国際学術交流事業の一環であることを受けて、調査研究協力者のパリ大学教授(フランス女性とポルトガル出身の男性)、准教授(東大出身の日本人男性)お三方をお招きしました。川口教授、随員の大学院生、留学中の大学院生と合わせて、教授側は8名、パリ支部からは職種それぞれ異なる7名の参加でした。さらに、スマートフォン市場に参入した日本企業の代表がマーケティングリサーチの意向から、川口教授の紹介を得て出席、グローバル色ある総勢17名で懇親会は賑わいました。

招待客に日本語がお分かりにならない方がいらっしやるとあって、冒頭、川口教授が言語学を中心とする日仏研究交流の現状と課題を、誰に語るとも無くフランス語で語られたのを皮切りに、自己紹介は全員フランス語での展開となりました。同窓会に外部から招かれて喜びの驚きだった、と



パリ大学教授・准教授からは嬉しいお言葉を頂きました。

一昨年度の東外大2学部制移行以来初めて、現職しかも言語文化学部を率いる川口教授をお迎えした会合でもあり、教授から機構改編についてご解説頂きました。

2学部制への移行は母校の発展、という漠然とした印象を持っていたに過ぎなかったもので、この機にホームページで両学部の教育スタンスを読んでもみましました。学習分野が大幅に重なっているにもかかわらず、2学部の初年度入学者がほぼ同数、つまり、各学部が募集人数を予め決めて選考、入学させています。2学部の合格最低点に大差が出たりしないのだろうか、1学部時代にどんな授業でも好きに選べたように、学部間に授業科目選択の融通性は残せるのだろうか、等々疑問が湧き、学生としても教員としても大学を離れて久しい今、新たな視線を母校に向ける契機となりました。

会報表紙写真の募集

東京外語会会報委員会

会報の表紙写真は原則として会員の皆様のご提供によっています。入選作品にはプロメテウス校章入りボールペンをお送りさせていただきます。次の要領により募集していますので奮ってご応募をお願いします。

1. 撮影テーマ : 自由。東京外語会会員の内外におけるご活躍ぶりなど。
2. 写真種類 : 鮮明なJPEG デジタル画像。
3. 応募締切 : 応募随時(会報発行ごとに適宜締切)
4. 作品審査 : 最優秀作1点、佳作2点、計3点を入選作品として選定
5. 入選作品 : 最優秀作を表紙に採用。入選作品応募者にはプロメテウス校章入りボールペンを贈呈。
6. 応募方法 : 100字程度の撮影メモを添えて会報委員会にEメール送信。  
【会報委員会アドレス: kaihou@gaijokai.or.jp】
7. その他 : 他人の著作権や肖像権などを侵害しないようご注意ください。東京外語会は他人の権利侵害により発生する損害賠償責任は一切負担いたしません

